

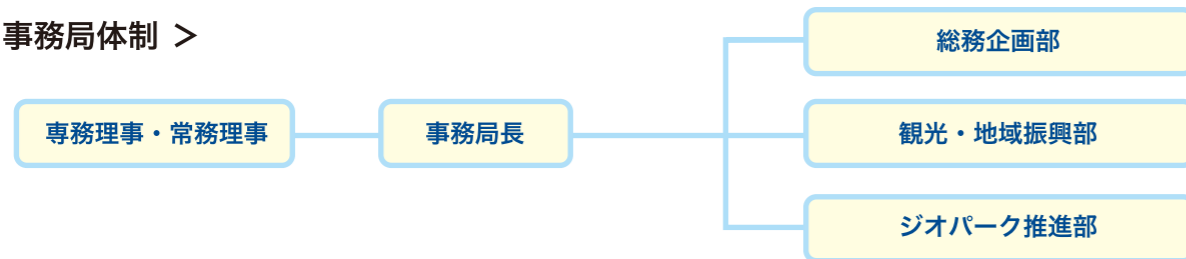
組織体制

“美伊豆”の組織体制は、マーケットの動向や取り組む事業内容に合わせて、柔軟に変更します。理事会、企画運営委員会、観光・地域振興委員会、ジオパーク委員会等を通じて、伊豆半島内での行政・事業者等との合意形成を行います。

<運営体制>



<事務局体制>



アクセス

住所：〒410-2416 静岡県伊豆市修善寺 838-1
修善寺総合会館 1階
電話：0558-72-0280 FAX：0558-72-1355
E-mail：ida@beautiful-izu.jp

<アクセス>

・公共機関でお越しの方
「修善寺駅」からバス約6分
「修善寺温泉」または「修善寺虹の郷」行、
「修善寺総合会館」下車、徒歩すぐ



地図

・お車でお越しの方
東名高速道路「沼津IC」または新東名高速道路「長泉沼津IC」
から車で40分（伊豆縦貫道経由）無料駐車場あり（普通30台）



美伊豆
ホームページ



伊豆観光公式サイト
美伊豆 B-IZU



美伊豆
Instagram



ジオパーク
ホームページ

表紙写真の説明

1	2	3	4	5
6	7	8	9	10
11	12	13	14	15

1. 西伊豆町 黄金崎
2. 沼津市 静浦
3. 東伊豆町 はさみ石
4. 南伊豆町 弓ヶ浜
5. 松崎町 千貫門
6. 函南町 丹那断層公園
7. 河津町 河津桜と菜の花
8. 伊東市 桜針祭
9. 伊豆の国市 葦山反射炉
10. 熱海市 熱海梅園
11. 清水町 本城山公園
12. 伊豆市 筏場のわさび田
13. 長泉町 鮎壺の滝
14. 下田市 龍宮窟
15. 三島市 源兵衛川

伊豆半島の魅力



松崎町 なまこ壁通り



三島市 三嶋大祭り



南伊豆町 みなみの桜と菜の花まつり



3ヶ年活動計画 (2023-2025)



※15 市町の写真の場所は最終ページに記載しています



unesco
Global Geopark

伊豆半島 7市8町

沼津市、熱海市、三島市、伊東市、下田市、伊豆市、伊豆の国市、
東伊豆町、河津町、南伊豆町、松崎町、西伊豆町、函南町、長泉町、清水町

新生“美伊豆”

2022年4月、一般社団法人美しい伊豆創造センター（略称：“美伊豆”）は、伊豆半島ジオパーク推進協議会と統合しました。これを契機に、新しく経営理念、ブランドスローガンを策定しました。これらにもとづき、2023年度からの3ヶ年活動計画に取り組んでいきます。

経営理念

ジオパークを舞台に、来訪者と生活者の満足度向上に貢献し、美しい伊豆半島の持続的成長を創造する

< 経営理念にかける思い >

美しい伊豆創造センターは、伊豆半島グランドデザインの推進組織として設立されました。伊豆半島グランドデザインは、地域の誇りと世界の中で輝き続ける伊豆の未来を創造することを目指す総合戦略であり、その内容は交流産業クラスターの創出に留まらず多岐におよぶものでした。こうした大きな理想を掲げながらも、限られた資源で最大限の効果を挙げるため、近年私たちは、伊豆半島の基幹産業である観光振興に力を傾注して参りました。

2022年4月、伊豆半島ジオパーク推進協議会との統合に伴い、世界的にも高い価値を有する伊豆半島の地質遺産の保全や、地域の担い手を育てる教育、あるいは防災意識の啓発など、旧推進協議会が担ってきた地域に密着した公益性の高い活動を継承することになりました。結果的に、新法人は、創設当時のように未来を創造する多様な活動に改めて取り組むこととなりました。さらに、ユネスコ世界ジオパークネットワークの一翼を担う伊豆半島ジオパークには、持続可能な開発の最前線としての役割が強く期待されています。このため、観光や地域振興を含めた美しい伊豆創造センターの活動全体において、持続可能性やSDGsへの貢献を強く意識することが必要となっています。伊豆半島を世界が賞賛するような美しい地域としてゆくという理想を思い起こし、その実現に向けた取り組みを加速させることが欠かせません。

以上のような変化を踏まえ、私たちはこれまでの歩みを改めて振り返り、また、未来の道筋を思い描こうとしています。

これまでの二つの組織の取り組みを断絶させることなく、二つの組織に属していた全ての人が共に目指すべき道筋を平易な言葉で表したものが、この経営理念です。

近年の美しい伊豆創造センターが取り組んできた観光振興は、ともすれば来訪者（観光客）と観光関連業者のためであると受け止められがちです。しかし、観光を基幹産業とする伊豆半島とはいえ、地域に暮らす人々を置き去りにして、観光客への奉仕に終始するような観光振興を私たちは望みません。私たちは、より大きな目で観光振興を捉えています。それは、伊豆に暮らす全ての生活者が、物心両面で満たされ、地域が活力を取り戻すための観光振興です。そのためには農林水産業、製造業、そして多様なサービス業を含め、地域の産業を全体として活性化することを意識してゆきたいと思えます。伊豆に暮らす生活者に目を向け、生活者の理解を得て共に地域に活力を取り戻してゆくことが新法人の使命です。さらに、新法人は観光振興や産業の活性化に留まらず、教育、環境の保全、文化の振興などの公益事業の担い手となることが求められています。行政や学校、あるいはNGOなどと連携しながら、伊豆半島の市民社会を形作る核となるのが伊豆半島ジオパーク推進協議会から継承した諸事業です。

より広い使命、より高い理想に臆することなく、美しい伊豆創造センターは着実に歩みを進めたい。そのような決意を胸に、私たちはこの経営理念を定めたいと思えます。

ブランドスローガン

ジオの恵み 住む人来る人に

< ブランドスローガンにかける思い >

経営理念にかける思いを、ブランドスローガン「ジオの恵み 住む人来る人に」に託しました。

今後の活動のあらゆる場面で、このブランドスローガンを発信し、“伊豆に住む人来る人”との一体感を醸成しながら、3ヶ年活動計画の実行に努めていきます。

これまでのあゆみ

伊豆半島グランドデザイン

伊豆半島グランドデザインは、「伊豆を一つに」をテーマに、世界から称賛され続ける地域を目指して、伊豆半島の市町に共通する課題の解決を目的として構成された伊豆半島7市6町首長会議で策定されました。

2013年4月 初版策定

2019年3月 令和元年版策定

一般社団法人美しい伊豆創造センター



伊豆半島の地域活性化のため、基幹産業である観光産業の振興に注力し、観光展への出展・インバウンド誘客など様々な活動を行ってきました。

- 2015年4月 伊豆半島グランドデザインの推進組織として設立
- 2017年2月 観光地域づくり法人地域連携DMO設立を目的として、“美伊豆”の観光事業部門を一般社団法人化
- 2018年7月 「日本版DMO」として正式認定
- 2019年4月 一般社団法人に一本化

伊豆半島ジオパーク推進協議会



日本ジオパーク認定後、ユネスコ世界ジオパーク認定のための推進活動、認定後は伊豆半島ジオパークにある計268ジオサイトの保全・研究活動や学校におけるジオパーク教育、ジオガイド養成、ジオツアー実施など多岐に亘る活動を行ってきました。

- 2011年3月 日本ジオパークの認定を目的に設立
- 2012年9月 日本ジオパークネットワークに加盟
- 2018年4月 ユネスコ世界ジオパークに認定(4年間)
- 2022年12月 ユネスコ世界ジオパークに再認定

2022年4月
統合



一般社団法人 美しい伊豆創造センター
新生“美伊豆”

伊豆半島の魅力



熱海市 芸妓見番

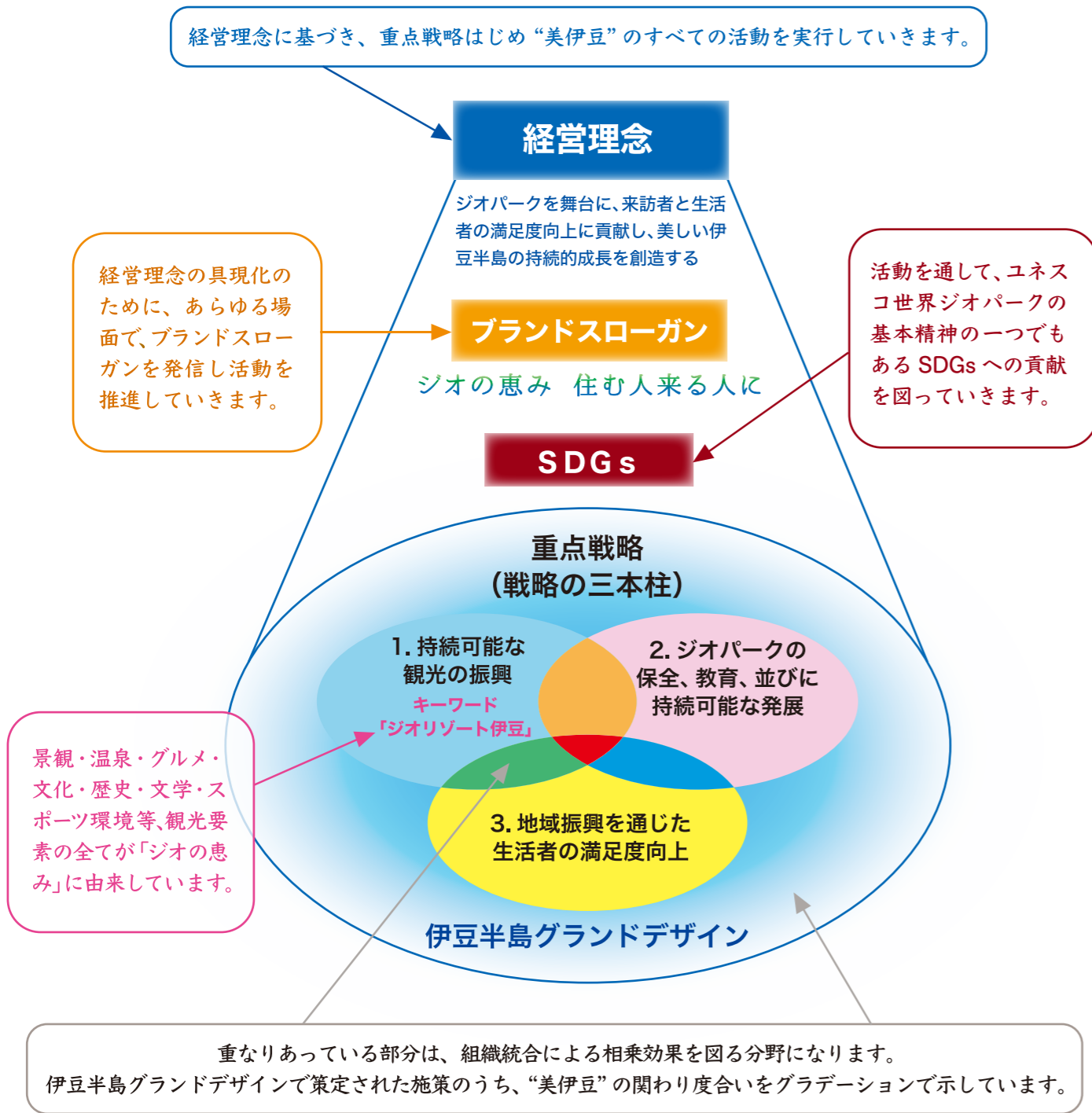


伊豆市 天城山隧道



伊豆の国市 姫のあし湯

戦略イメージ図と重点戦略（戦略の三本柱）



伊豆半島の魅力



伊東市 伊東温泉めっちゃくちゃ市



河津町 河津バガテル公園



函南町 かなみ仏の里美術館

重点戦略（戦略の三本柱）の主要施策・事業内容

1. 持続可能な観光の振興

美しい伊豆創造センターが実施している観光DMOとしての施策・事業になります。「ジオリゾート伊豆」をキーワードとし、持続可能な観光振興に取り組んでいきます。

主な施策と取組み例

- 戦略策定・計画策定
 - ・伊豆半島満足度調査
 - ・統計資料、満足度調査に基づく事業計画策定
- 国内観光誘客
 - ・メディア、エージェントセールス
 - ・国内観光展への出展 等
- インバウンド誘客
 - ・商品開発を目的とした視察に協力
 - ・各種メディアを利用した情報発信 等

インバウンドツアー



エージェントセールス



観光展

2. ジオパークの保全、教育、並びに持続可能な発展

旧推進協議会が策定した「伊豆半島ユネスコ世界ジオパーク基本計画・行動計画」に係る実施・事業になります。

主な施策と取組み例

- 研究と保全
 - ・サイトの保全・管理
 - ・研究員による研究や学術助成制度による研究 等
- 教育活動（ジオ学習）
 - ・学校教育との連携事業
 - ・生涯学習講座でのジオ学習実施 等
- ネットワーク活動の強化とパートナーシップ
 - ・各種プログラムへの参加・協力・貢献
 - ・パートナーシップ協定に基づく連携事業 等
- ジオガイド養成・ジオツーリズム推進
- ジオリア運営・ビジターセンター連携



ジオトレッキング



サステナブルツーリズム



ジオリア運営

3. 地域振興を通じた生活者の満足度向上

地域振興・生活者の満足度向上に係る事業になります。重点戦略の柱の一つとすることで、これまで以上に地域振興・生活者の満足度向上に取り組んでいきます。

主な施策と取組み例

- 地域ブランド力向上
 - ・食資源等魅力発信
 - ・物産展の開催 等
- 周遊性・滞在性向上
 - ・サイクリングリゾート伊豆 PR
 - ・E-bikeツアーの開催
 - ・関係機関との連携（伊豆半島道路ネットワーク会議等）
- 地域振興支援
 - ・観光事業者採用支援事業



サイクリングツアー



食資源等魅力発信



観光事業者採用支援事業

※ 複数の重点戦略にまたがる施策や取り組みもありますが、上図では便宜的に、3つの重点戦略に分類して記載しています。

主なKPI 計画達成状況の管理

“目指すべき姿・こうあってほしい状態”を目標に、本計画を実行していきます。その達成状況を評価するために、KPI(Key Performance Indicator：重要業績評価指標)を設定し、年度毎に結果を評価し、次年度の計画策定に反映させていきます。

1. 持続可能な観光の振興

※ DMO：○はDMO必須項目を示す SDGs：該当ゴール番号を示す

目指すべき姿・こうあってほしい状態	主な戦略目標 (KPI)	DMO	SDGs	目標値		
				2023年度	2024年度	2025年度
観光事業の収益が増加あるいは維持されている状態	観光入込客数（観光交流客数）		8	37,460千人	42,258千人	47,056千人
	延べ宿泊者数	○	8	9,505千人泊	10,715千人泊	11,925千人泊
	旅行消費額	○	8	249,339百万円	284,356百万円	320,211百万円
伊豆半島の認知度が高水準で維持されている状態	ホームページアクセス状況		8	35,000PV/月	55,000PV/月	80,000PV/月
	Instagram フォロワー数		8	10,500人	11,000人	12,000人
	Instagram エンゲージメント率		8	6.4%	7%	8%
伊豆半島を多くの人が、何度も来訪してくれる状態	リピーター率	○	8	67%	67%	67%
	来訪者満足度	○	8	98%	98%	98%

2. ジオパークの保全、教育、並びに持続可能な発展

目指すべき姿・こうあってほしい状態	主な戦略目標 (KPI)	SDGs	目標値		
			2023年度	2024年度	2025年度
地域住民がジオパーク活動に興味を持ち、理解を深め、積極的に参加している状態	ジオガイドによるジオツアー計画数	8, 11	前年度比3%増	前年度比3%増	前年度比3%増
	ジオサポーターの総数	8, 17	200名	210名	220名
地域や学種別の偏重が改善し、様々な面でジオパークが教育に活用される状態	研究員・研究者による研究活動成果	4	3件	3件	3件
	市民や大学との協働による教育活動実施回数と参加者数	4	5回・100名	5回・100名	5回・100名
	出前授業等によるジオ学習の実施校数	4	50校	52校	55校

3. 地域振興を通じた生活者の満足度向上

目指すべき姿・こうあってほしい状態	主な戦略目標 (KPI)	SDGs	目標値		
			2023年度	2024年度	2025年度
地域活動に住民が積極的、活発に参加している状態	住民参加のワークショップの開催数	4	8回	8回	8回
伊豆半島に暮らす生活者が満足して暮らしている状態	観光客の受入れに前向きである割合	11	65%	66%	67%
	住む地域に対して誇りや愛着を持っている割合	11	88%	89%	90%

伊豆半島の魅力



清水町 柿田川公園



下田市 ペリーロード



長泉町 桃沢野外活動センター



西伊豆町 堂ヶ島サンセットイルミ



沼津市 沼津港大型展望水門「びゅうお」



東伊豆町 細野高原

SDGsへの貢献

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

本計画の実行を通して、以下のSDGsの7つ（太枠）のゴール達成に貢献していきます。

1 貧困をなくそう

あらゆる場所のあらゆる形態の貧困を終わらせる

2 飢餓をゼロに

飢餓を終わらせ、食料安全保障及び栄養改善を実現し、持続可能な農業を促進する

3 すべての人に健康と福祉を

あらゆる年齢の全ての人々の健康的な生活を確保し、福祉を促進する

4 質の高い教育をみんなに

全ての人々に包括的かつ公正な質の高い教育を確保し、生涯学習の機会を促進する

5 ジェンダー平等を實現しよう

ジェンダー平等を達成し、すべての女性及び少女の能力強化を行う

6 安全な水とトイレを世界中に

全ての人々の水と衛生の利用可能性と持続可能な管理を確保する

7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに

全ての人々の、安価かつ信頼できる持続可能な近代的エネルギーへのアクセスを確保する

8 働きがいも経済成長も

包括的かつ持続可能な経済成長及び全ての人々の完全かつ生産的な雇用と働きがいのある人間らしい雇用を促進する

9 産業と技術革新の基盤をつくろう

強靱（レジリエント）なインフラ構築、包摂的かつ持続可能な産業化の促進及びイノベーションの推進を図る

10 人や国の不平等をなくそう

各国内及び各国間の不平等を是正する

11 住み続けられるまちづくりを

包括的で安全かつ強靱（レジリエント）で持続可能な都市及び人間住居を実現する

12 つくる責任 つかう責任

持続可能な生産消費形態を確保する

13 気候変動に具体的な対策を

気候変動及びその影響を軽減するための緊急対策を講じる

14 海の豊かさを守ろう

持続可能な開発のために海洋・海洋資源を保全し、持続可能な形で利用する

15 陸の豊かさも守ろう

陸域生態系の保護、回復、持続可能な利用の促進、持続可能な森林の経営、生物多様性の損失を阻止する

16 平和と公正をすべての人に

持続可能な開発のための平和で包摂的な社会を促進し、全ての人々に司法へのアクセスを提供し、あらゆるレベルにおいて効果的で説明責任のある包摂的な制度を構築する

17 パートナリシップで目標を達成しよう

持続可能な開発のための実施手段を強化し、グローバル・パートナーを活性化

